

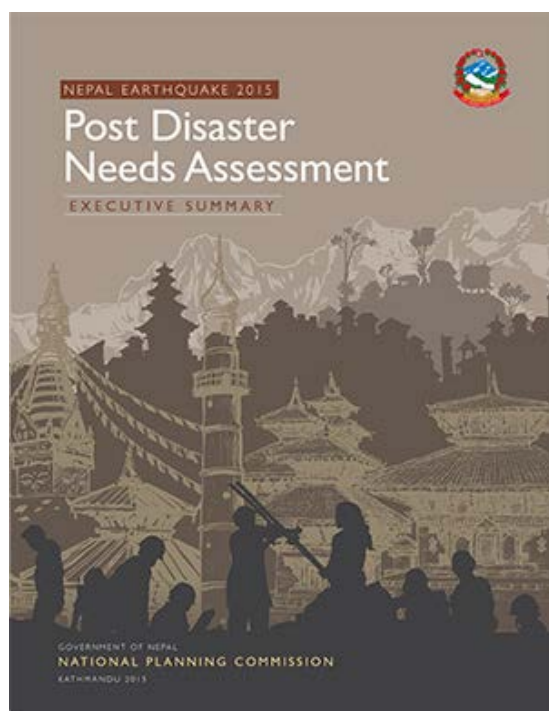
経済学会・法政経学会主催講演会

津曲 真樹 (つまがり まき) 氏¹

(独) 国際協力機構 ネパール国づくり支援プログラム
ガバナンス/政策対話アドバイザー

途上国支援における 国際協調の一例

2015 年ネパール地震災害後ニーズ調査 (PDNA)
への参加経験より



昨今、途上国援助の現場では、単独援助国による支援では対応できない大きな規模の課題に国際機関・二国間援助機関による「開発パートナー(DP)」が協働で取り組むことが主流になっています。

2015 年 4 月 25 日にネパール国首都カトマンズ北西約 80 キロを震源とするマグニチュード 7.8 (米国地質調査所公表値) の地震が起こった際、日本の (独) 国際協力機構 (JICA) は、アジア開発銀行 (ADB)、欧州連合 (EU)、国連 (UN)、世界銀行 (WB) と共に、同国政府が決定した「災害後ニーズ調査 (Post Disaster Needs Assessment: PDNA)」の実施を中核パートナーとして支援することを決定し、PDNA 運営事務局とセクター毎の調査を行うセクター・チームに関係者を投入しました。今回の講演では、同事務局に JICA から

派遣されると同時に、23 からなるセクター別作業グループのガバナンス・チームにて活動した経験を基に、「援助協調」の実態について、ネパールの事例から採り上げます。皆さま、奮ってご参加ください。

日時 : 2016 年 6 月 21 日 (火) 10:30~12:00

会場 : 大学院棟 5 階 院講義室 1

¹ 所属 (有) アイエムジー imgpartners.com